

【開催日時】2010年11月30日(火) 【開催場所】土木学会講堂
 【申込者数】56名 【アンケート回答数】43(回収率77%)

1. 受講者プロフィール

1.1 所属

【所属】	回答	比率
建設コンサルタント	5	12%
建設会社	32	74%
メーカー(橋梁, 鉄鋼, 重工など)	2	5%
ソフトウェア関連	0	0%
公益事業体(電力・ガス・鉄道など)	1	2%
官公庁(国, 公団)	0	0%
官公庁(地方公共団体)	0	0%
学生	0	0%
その他	3	7%
計	43	100%

1.2 業務内容

【業務内容】	回答	比率
調査・設計・計画	24	56%
数値解析	0	0%
エンジニアリング	1	2%
研究・開発	1	2%
施工管理	15	35%
その他	2	5%
無回答	0	0%
計	43	100%

1.3 年齢

【年齢】	回答	比率
～25	5	12%
26～30	6	14%
31～35	1	2%
36～40	9	21%
41～45	10	23%
46～	12	28%
無回答	0	0%
計	43	100%

1.4 保有資格(複数回答可)

【保有資格】	回答	比率
技術士	6	11%
技術士補	11	20%
RCCM	2	4%
上級技術者(土木学会)	0	0%
1級技術者(土木学会)	1	2%
2級技術者(土木学会)	3	5%
1級土木施工管理技士	27	48%
その他	2	4%
無回答	4	7%
計	56	100%

1.5 工事経験年数

【工事経験年数】	回答	比率
なし	12	28%
1年未満	0	0%
1～2年	0	0%
3年～5年	6	14%
6年～10年	4	9%
10年以上	21	49%
無回答	0	0%
計	43	100%

1.6 設計・計画経験年数

【設計・計画経験年数】	回答	比率
なし	2	5%
1年未満	13	30%
1～2年	4	9%
3年～5年	6	14%
6年～10年	3	7%
10年以上	14	33%
無回答	1	2%
計	43	100%

2-1. 講習会について(案内・参加動機等)

(1) 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

【案内方法】	回答数	比率
土木学会会誌の会告	3	7%
土木学会のホームページ	16	36%
協会等の案内	8	18%
技術雑誌	0	0%
その他(社内の案内が多数)	18	40%
無回答	0	0%
計	45	100%

(2) 参加の動機をお答えください。(複数回答可)

【参加の動機】	回答数	比率
テーマに興味があった	15	20%
業務に役立つと思った	35	47%
上司に勧められた	19	26%
継続教育として妥当である	5	7%
その他	0	0%
無回答	0	0%
計	74	100%

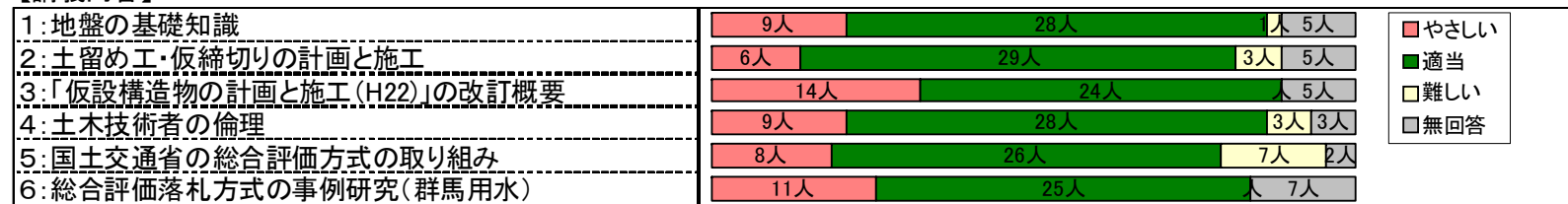
(3) 参加費についてお答えください。(会費6千円, 学生会費3千円, 非会員7千円)

【参加費】	回答数	比率
高いと思う	11	26%
適当である	32	74%
安いと思う	0	0%
無回答	0	0%
計	43	100%

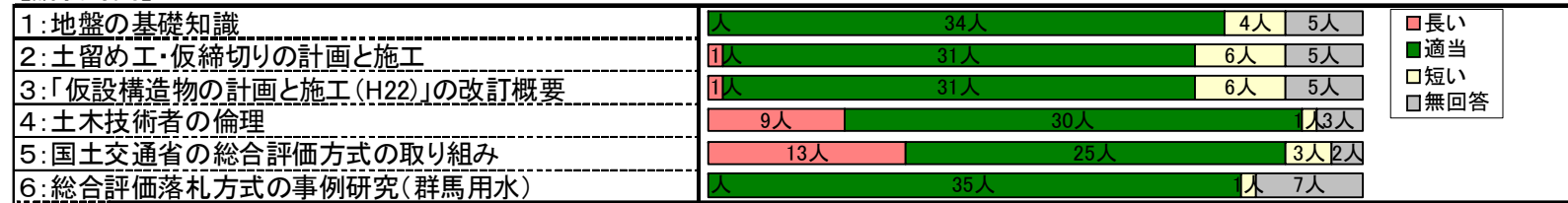
2-2. 講習会について(講義内容)

(4) 講義内容の難易度と講義時間、講師の説明の感想を、セッション毎にお答えください。

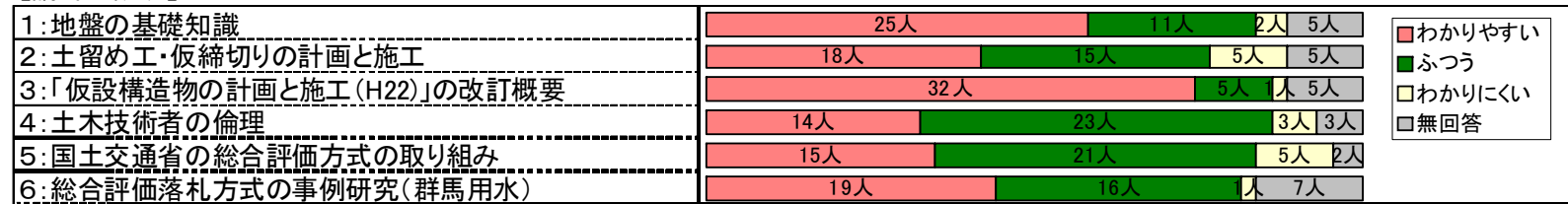
【講義内容】



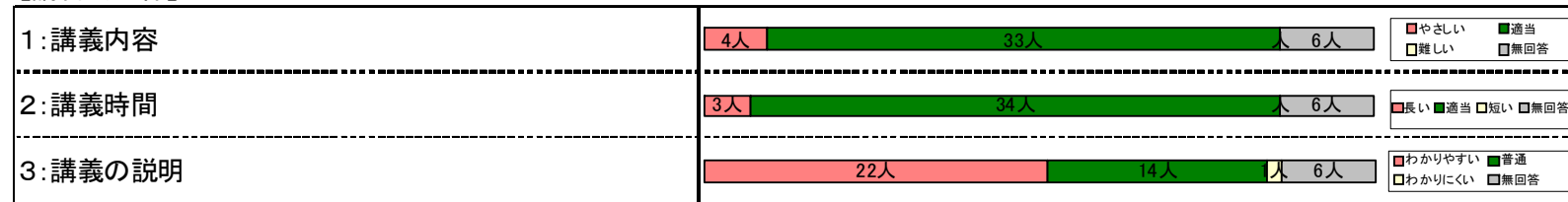
【講義時間】



【講師の説明】



【講習会全体】



(5) 講義内容が特に良かった(啓発された、実務に役立つ)セッションをお答えください。(複数回答可)



3. 講習会の感想・意見集計

(所属)	(年齢)	感想・意見
建設会社	～25	・今後の業務に生かせる内容ばかりで非常に良かった。
建設会社	～25	・「国土交通省の総合評価方式の取り組み」について発注者から話を聞ける機会は多くないと思いますので、非常に有意義。
コンサルタント	41～45	・「地盤の基礎知識」は省略しすぎてよくわからなかった。
メーカー	36～40	・「仮設構造物の計画と施工」についてもう少し内容を説明して欲しかった。
建設会社	36～40	・「国土交通省の総合評価方式の取り組み」について概要の説明を簡略化すれば講師の負担も軽減されるのでは。
建設会社	36～40	・施工計画と総合評価の関連のある事例や評価についてより詳しい講義があればよい。
建設会社	36～40	・総合評価事例は公表が難しく、あまり聞けないので、興味深い内容だった。
建設会社	46～	・個々のセクションをもう少し詳しくしてほしい。
建設会社	41～45	・大変有意義だった。このような講習会を中部および関西支部で希望する。
建設会社	36～40	・「地盤の基礎知識」はテキストと講義PPTに大きな差があったので、講義に用いるPPTをテキストにいれてもらいたい。
建設会社	36～40	・「国土交通省の総合評価方式の取り組み」は今一歩踏み込んだ事例紹介等の話が聞けると良かった。
メーカー	36～40	・資料をカラーにしてほしい。
コンサルタント	46～	・「国土交通省の総合評価方式の取り組み」、「評価事例」はタイトルと講義がミスマッチではないか。